

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2015年11月号(第11号)



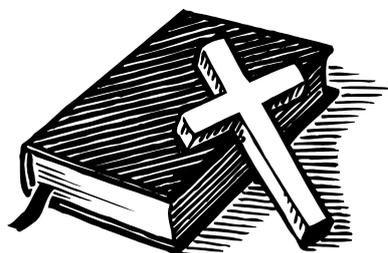
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして死が全人類に広がったのと同様に、――それというのも全人類が罪を犯したからです。【ローマ人への手紙 5章 12節】

個人的なことですが、私は旅行が好きではありません。その理由は、余り理解してもらえないことが多いのですが、その場所を好きになってしまうからです。そして、帰りたくなくなってしまう、帰る時に非常に寂しくなるからです。「〇〇ロス」というのでしょうか。そんな思いになるのだったら、最初から旅行などしない方が良く、という少し極端な考えを持っています。ただ、これは旅行に限ったことではありません。人との出会いも同じです。出会った人と別れることになる代表例は卒業です。これほど寂しいものはありません。私は、牧師になる前にサラリーマンをしていましたので退職も経験していますが、退職も同じくらい寂しいことです。せっかく出会った人と別れることになるのは寂しいものです。そして、こんな人間ですから、「死」がもたらす寂しさは言葉にならないものがあります。

では、なぜ人に寂しさをもたらすことになる「死」が存在するのでしょうか。聖書は、

死が存在する理由を教えてください。それが今月の聖書のことばです。そこには、「罪によって死が入り」とあります。聖書は、人間が死ぬ原因について「罪」を挙げています。「罪」については、サクサク通信の第6号で取り上げました。神のことばに従うのではなく、蛇のことばに従ったゆえに、人類に罪が入ってきました。今月の聖書のことばにある「ひとりの人」とは、アダムを指しています。アダムが神の命令に背いたことで、人類に罪が入りました。そして、その罪の結果として人類に死が入って来た、と聖書は語ります。また、他の箇所では「罪から来る報酬は死です」(ローマ 6章 23節)とあります。聖書は、罪を犯した刑罰として死を教えてください。私の父は、腎不全で亡くなったのですが、究極的には、罪から来る神のさばきとして死んだのです。この地上において、一度も罪を犯したことがない人はいません。悪いことを教えていない幼児であっても、兄弟や友だちに悪さをしま

す。人は例外なく罪人です。そして、その結果として死を迎えます。しかし、死んで終わりではありません。罪を犯した責任があります。聖書は、死後にさばきがあることを語っています。聖書の神は、愛の神ですが、同時に正義の神でもあります。正義の神は不正を裁かずに放置することはありません。死後には永遠の滅びが待ち受けています。罪がもたらす結果というのは、悲惨です。悲劇です。罪は、地上での生涯を死で終わらすだけでなく、永遠の滅びをもたらします。もし、私がここで文章を終えたら、希望もなく、絶望的な思いしか残りません。しかし、これでは終わりではありません。聖書は希望についても語っています。先ほど「罪から来る報酬は死です。」という聖書のことばを紹介しました。そのことばが書かれた直後には、次のようになります。「しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」「永遠の滅び」で終わるのではなく、「永遠のいのち」が神の賜物として与えられることが約束されています。この永遠のいのちがどのように与えられるのかと言えば、イエス・キリストを通して与えられます。聖書が教える「救い」というのは、この罪からの、永遠の滅びからの救いです。そして、永遠のいのちが与えられ、神と共に住むということがク

リスチャンの希望です。ぜひ、この救いを求めてください。私の父は、罪を犯した刑罰として、この地上では死ななければなりません。そして、私もいつか父と同じように罪を犯して生きてきた刑罰として死を迎えます。しかし、自分が神から離れ、好き放題行ってきた罪の生き方を悔い改め、イエス・キリストを救い主として信じるなら、永遠のいのちが与えられます。この永遠のいのちを頂いて地上の歩みを終えることが出来るならば、慰めがあります。希望があります。父も私もこの永遠のいのちを頂いています。ですから、私たちは、やがて天の御国で再会する希望があります。これがクリスチャンの希望です。ぜひ、この救いを一日も早く受け取ってください。

11月29日の礼拝では、初めての方向けに説教をします。どうかご予約くださり、聖書のことばを聞きに教会にお越しください。

◆コラム

最後まで忍耐してお読みくださりありがとうございます。「滅び」について書くことは、気分が良いものではありません。読んでいる方に「脅そうとしている」と思われても困ってしまいます。私としては、聖書が教えている限り語らないわけにはいきません。それは、サクサク通信を読んで下さっている方々に滅んでほしくない、という思いからです。筆者の思いを汲んでくだされば幸いです。

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～12:00
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
19:30～21:00

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。